

平成25年度 事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	交通安全施設整備						継続					
コード	24	-	20	-	02	-	00	予算事業名	交通安全施設整備			
担当部署	市民部	防犯・交通安全課	交通安全対策担当	予算事業コード	会計	10	款	02	項	01	目	15

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)	位置付けなしの場合	無	法令による実施義務	義務ではない
基本目標(章)			実施計画事業名	なし
方向性(節)			個別計画等の名称	なし
施策			当事業に関連する事務事業	警察との連携によるゾーン30対策
細施策				
事業実施の根拠となる法令・条例等	なし			

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	交通安全対策
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	住民、自治会、警察、関係機関等からの要望、相談を受けて、交通環境上、危険な箇所に対して路面標示やカーブミラー、注意看板や警戒標識、道路照明灯の設置を施す。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額	88,909	59,874	51,808	50,774	81,551	
(25年度予算額大幅増/減の理由)	国庫補助事業であるゾーン30対策箇所が増えたため。					
事業費 A	58,992	54,868	48,254	47,913	81,000	73,000
人件費 B	11,372	11,372	9,905	10,272	8,071	11,006
総コスト(C=A+B)	70,364	66,240	58,159	58,185	89,071	84,006
正規職員(1年間の従事人数)	1.55人	1.55人	1.35人	1.40人	1.10人	1.50人
臨時職員(1年間の従事人数)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金 D	1,100	0	0	4,345	11,616	13,777
その他特定財源 E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)	69,264	66,240	58,159	53,840	77,455	70,229

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
成果	市内交通事故(人身事故)件数	2,110	2,107	2,107	1,817	1,744	28年度 1,542
	指標の定義・説明	警察発表の事故件数(ただし、各年中の件数である)					
成果	要望件数	221	341	355	319	350	28年度 350
	指標の定義・説明	市民や自治会、関係課からの交通安全対策の要望件数(国、県、警察、他課の対策分や対策不要分を除く)					
活動	対策件数	209	325	347	295	330	28年度 330
	指標の定義・説明	当課による対策件数(前年度の繰り越し分は含まない)					
活動	ゾーン30対策件数				1	2	28年度 2
	指標の定義・説明	警察との連携によるゾーン30対策地区の件数					
指標に基づく評価	対策費が予算オーバーする場合や年度末により工期が確保できない場合は次年度対応となりますが、おおむね年度内に対応しています。 またゾーン30対策を警察との連携により平成24年度から9地区/5ヵ年計画として実施しています。						

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題			
当課の対策だけでなく、国、県、警察、他課との連携を図った総合的な安全対策が効果的だが、足並みが揃わない。				
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)				
他市も同様に交通安全対策を行っているが、本市は他市と比較して要望件数は多く、対策も迅速である。 なおゾーン30対策にも積極的に取り組んでいる。				
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響				
交通事故リスクは下がらず、快適な市民生活の低下を招く。				

平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署			市民部				防犯・交通安全課	交通安全対策担当
事務事業名称			24	20	02	00	交通安全施設整備	
今後3年間の方向性	25年度	継続	<p>今後も住民、自治会、警察、関係機関等からの要望、相談を受けて、交通環境上、危険な箇所に対して路面標示、、カーブミラー、注意看板や警戒標識、道路照明灯の設置していく。</p> <p>さらに警察との連携によりゾーン30対策も継続していく。</p>					
	26年度	継続	<p>今後も住民、自治会、警察、関係機関等からの要望、相談を受けて、交通環境上、危険な箇所に対して路面標示、、カーブミラー、注意看板や警戒標識、道路照明灯の設置していく。</p> <p>さらに警察との連携によりゾーン30対策も継続していく。</p>					
	27年度	継続	<p>今後も住民、自治会、警察、関係機関等からの要望、相談を受けて、交通環境上、危険な箇所に対して路面標示、、カーブミラー、注意看板や警戒標識、道路照明灯の設置していく。</p> <p>さらに警察との連携によりゾーン30対策も継続していく。</p>					